

当面の技術対策(畜産編)

平成23年5月15日

ゆとりみらい21推進協議会指導部会
(幕別町忠類地区)

農業改良普及センター南部支所

6-0255

JA忠類営農部生産課畜産係

8-2311

幕別町忠類総合支所経済建設課

8-2111

1 農場の衛生管理

伝染病の発生・蔓延を防止するため、防疫体制を強化していきましょう。

(1)農場出入り口の消石灰散布

消石灰の散布については、幅は農場出入り口への取り付け道路幅と同等程度、長さは3.5m(牛乳搬送ローリーや飼料配送車等の大型車のタイヤ約1回転分)程度を確保しましょう。

(2)踏み込み消毒槽の設置

消毒剤は有機物(糞尿等)が入ると消毒効果が低下してきます。糞尿等をきれいに落してから消毒槽を活用しましょう。消毒槽の汚れが目立ってきたら、消毒薬液の交換を行きましょう。

2 家畜飼養管理

春先は日を追うごとに徐々に気温が上昇します。牛舎内の温度・換気管理には気を配りましょう。

(1)貯蔵飼料の質や量を確認して計画的な給与を行きましょう。

(2)サイレージの品質が低下しやすいので、二次発酵やカビの有無に留意しましょう。

(3)気温が高くなると細菌が増殖しやすくなります。飼槽、搾乳器具、ウォーターカップ、哺乳器具などの衛生管理に努めましょう。

3 飼料作物管理

好天が続かないため、「サイレージ用とうもろこしのは種作業が遅れている」と感じていませんか？
気持ちの焦りから、は種作業等が粗雑にならないよう留意しましょう。

【サイレージ用とうもろこしの栽培】

(1)は種作業は、1株1本仕立てで欠株を少なくし、適正な株立て本数を確保します。

(2)品種の最適な栽植密度や種子サイズを確認し、は種機の試験運転を実施し、種子の落ち具合を調節しましょう。

(3)砕土・整地が粗いと種子の落ち具合に影響し、欠株の原因になるほか、覆土深が不十分で、乾燥や遅霜の被害を受けやすくなりますので注意しましょう。

(4)は種深は3~5cmを厳守しましょう。は種深を適切に保つことは遅霜の被害を軽減させる効果があります。

(5)は種速度を必要以上に早めると、株間が広まったり、欠株の原因になりますので注意しましょう。

(6)は種作業が一段落したら、防除作業に向けスプレーヤー等作業機の確認を行ってください。故障箇所等は、早めに修理しておきましょう

【草地管理】

草地を観察し、基幹草種、雑草や裸地の状態を把握し、更新や除草剤処理、追播など、草地管理計画を再確認しましょう。

農作業安全、生産履歴記帳を忘れずに

長時間作業する場合は、2時間に20分程度は休みましょう

治療薬、抗生物質を使用した場合、個体牛のマーキング、記帳を忘れずに